

認知症バリアフリー社会実現のための手引き

 <p>旅館・ホテル編</p> <p>誰もが安心して利用できる旅館・ホテルの実現に向けて。旅館・ホテル関係者に知っておいていただきたいことや取り組み事例を紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>誰もが利用できる旅館・ホテルへ</p> <p>認知症バリアフリーに向けた取り組み</p> <p>認知症の理解・参考情報</p>	 <p>携帯ショップ編</p> <p>誰もが安心して来店できる携帯ショップであるために。携帯ショップの人たちに知っておいていただきたいことや取り組み事例を紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>配食サービスでの具体的な取り組み</p> <p>取り組み事例</p> <p>認知症の理解・参考情報</p>	 <p>薬局・ドラッグストア編</p> <p>誰もが安心して利用できる薬局・ドラッグストアの実現に向けて。薬局・ドラッグストアの果たす役割や取り組み事例を紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>薬局・ドラッグストアでの具体的な取り組み</p> <p>取り組み事例</p> <p>認知症の理解・参考情報</p>	 <p>配食等編</p> <p>配食サービスは地域高齢者の健康支援の担い手。宅配サービスはなじみの関係づくりから。それぞれが果たす役割や取り組み事例を紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>配食サービスでの具体的な取り組み</p> <p>取り組み事例</p> <p>認知症の理解・参考情報</p>
 <p>運動施設編</p> <p>認知症の学びと交流の場として、認知症になっても通い続けられる運動施設へ。運動施設が果たす役割や取り組み事例を紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>運動施設での具体的な取り組み</p> <p>取り組み事例</p> <p>認知症の理解・参考情報</p>	 <p>図書館編</p> <p>認知症の学びと交流の場として、誰もが利用し続けることができる図書館へ。図書館が果たす役割や取り組みの考え方を紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>図書館に期待される役割</p> <p>取り組みの考え方事例</p> <p>認知症の理解・参考情報</p>	 <p>金融編</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて。認知症の人と接する時の基本姿勢や、金融機関での主な事例などを紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現を目指して</p> <p>金融機関でみられる認知症の人が示す主な言動と接し方</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けての取り組み</p> <p>参考情報</p>	
 <p>小売編</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて。認知症の人と接する時の基本姿勢や、小売店舗での主な事例などを紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>小売店舗でみられる認知症の人が示す主な言動と接し方</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けての取り組み</p> <p>参考情報</p>	 <p>住宅編</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて。認知症の人と接する時の基本姿勢や、マンション生活での主な事例などを紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>マンション生活でみられる認知症の人が示す主な言動と接し方</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けての取り組み</p> <p>参考情報</p>	 <p>レジャー・生活関連編</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて。認知症の人と接する時の基本姿勢や、宿泊施設等や理美容の現場での主な事例などを紹介。</p> <p>主な内容</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けて</p> <p>宿泊施設等や理美容の現場でみられる認知症の人が示す主な言動と接し方</p> <p>認知症バリアフリー社会の実現に向けての取り組み</p> <p>参考情報</p>	

信州型フリースクール認証項目と主な基準 有効期限3年間

1	所在地	不登校児童生徒等が通所又は入所により利用可能な 県内に所在 すること。	
2	法人格の有無	法人・個人を問わない。不登校児童生徒等への支援を主目的としている ほか、継続的な運営に著しい支障がない程度の財務状況であり、地域での一定の社会的信用を有していること。	
3	利用児童生徒	義務教育段階の不登校児童生徒等が利用していること。ただし、義務教育段階以外の利用者があることを妨げない。	
4	利用児童生徒数	原則として、運営者の親族ではない県内居住の利用者が 複数（2人以上） 利用していること。	
5	スタッフ（ボランティア含む）の資格等	・人命や人格を尊重した相談等を行っていること。 ・利用者の日々の状況に深い理解を有するとともに、不登校への支援について専門的な知識・経験をもっているほか、その支援が対話を重視した伴走的であり、熱意を有していること。	上記のほか、 1人以上が教員免許を取得 していること。
		上記のほか、 資格等の保有は問わない。	
6	開所日数	週1日以上 、平日の日中時間帯に開所していること。	週3日以上 、平日の日中時間帯に開所していること。
7	活動実績	利用者への社会的な自立や相談を中心とした支援活動 について、開所の日及び活動を開始した日から 1年以上経過 しており、明確な活動実績があること。	利用者への学びや、社会的な自立や相談を中心とした支援活動 について、開所の日及び活動を開始した日から 1年以上経過 しており、明確な活動実績があること。
8	在籍校との連携・協力	利用者への社会的自立等の相談を中心とした支援活動 の状況を定期的に連絡し、情報共有を図るなど、利用者の在籍校と十分な連携・協力関係を構築していること。	利用者への学びや、社会的自立等の相談を中心とした支援活動 の状況を定期的に連絡し、情報共有を図るなど、利用者の在籍校と十分な連携・協力関係を構築していること。
9	在籍校での出席扱い	指導要録上で出席扱いとなる利用児童生徒等がいることは 原則問わない 。	指導要録上で出席扱いとなる利用児童生徒等がいることは 原則問わないが、希望がある児童生徒又はその保護者がいる場合、そのうち1人以上は出席扱いを受けていること。
10	支援方針・計画等の策定	利用者への 社会的自立等の相談を中心とした支援活動 に際して、利用者の個々の状況や特性に沿った伴走方針や支援計画等を策定し、その保護者や在籍校等と共有していること。	利用者への 学びや、社会的自立等の相談を中心とした支援活動 に際して、利用者の個々の状況や特性に沿った伴走方針や支援計画等を策定し、その保護者や在籍校等と共有していること。
11	施設等情報の発信・明確化	利用児童生徒等や保護者が施設を選択する際に参考となる、「提供する支援や学び等の内容」、「開所日・時間」、「入会金、利用料（月額・年額等）」、「スタッフ」等の情報について、 運営者の責任において明確かつ積極的な情報発信がされていること。なお、地方公共団体によるホームページ等への継続的な情報掲載により代えることができるものとする。	
12	利用者への相談等支援	利用児童生徒及びその保護者からの相談に応じる とともに、必要に応じて、保健・医療・福祉・教育等の支援機関につなげる等、適切な対応が図られていること。	
13	施設・設備等における利用児童生徒の安全確保	・支援等を実施するに当たって支障のない常設の施設・設備を有しており、保健衛生上、安全上及び管理上の懸念がないこと。 ・宿泊を伴う活動など施設外での活動を行う場合には、安全面・健康面での配慮が十分なされていること。 ・災害・防犯に関する訓練を実施するなど、児童生徒等の安全確保に努めること。	

<p>研修実施 ・“学びの自由さや多様性”を尊重しつつ、認証フリースクールとして理解・実践が必要な事項についての研修を実施。</p>	<p>■フリースクールの運営に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不登校等支援を巡る国の動向」 ・「学びや支援の内容に関する情報公開」 ・「伴走（支援）方針／計画等の策定」 ・「在籍校との連携体制づくり」 ・「フリースクールにおける安全管理」 他 <p>■スタッフの資質向上に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの権利、こども基本法への理解」 ・「不登校等の子どもとの関わり、個性を尊重した学び」 ・「相談対応、関係機関との連携づくり」 ・「発達障がい等への理解」 他 	<p>①県等による研修の開催 ②民間団体等が開催する研修の受講推奨 ③認証フリースクールが開催する研修への参加・支援</p>
<p>情報公開／発信 ・利用児童生徒や保護者が選択しやすくなるとともに、フリースクールに対する理解と認知度向上を図るための情報公開を支援。</p>	<p>■公開する情報の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営方針、提供する支援や学びの内容 ・開所日、開所時間、利用料等 ・運営者情報、スタッフ情報 ・相談支援やその他の事業 ・連絡先（TEL、Eメール） 	<p>①フリースクールのホームページ、リーフレット等による情報発信 ②県等のホームページでの情報発信</p>
<p>連携促進（横の繋がりづくり） ・認証フリースクール同士が主体的に連携づくりを行う場合に支援。</p>	<p>■認証フリースクールが相互の連携促進・様々な活動を実践していくための基盤となるプラットフォーム（協議会等）を設立する場合に支援</p>	<p>①設立の際の相談支援 ②研修、交流会、イベント開催時における後援等</p>
<p>継続的なフォロー ・認証フリースクールが、各地域で継続的に運営していくためのフォロー。</p>	<p>■継続的なフォローの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会・在籍校との連携促進 ・支援方針・計画の策定アドバイス ・地域の福祉等関係機関との連携促進 ・サポート人材の確保 	<p>①県によるサポート人材（不登校支援機関連携推進員）の配置 ②多機関連携を促す機会の設定（場づくり） （例：不登校等児童生徒の支援者の集い）</p>